

西高ニュース 第119号

校訓
克己、協調、創造

県立伊丹西高等学校
住 所：伊丹市奥畠3丁目5番地
TEL：072-777-3711
FAX：072-777-3712
HP：<http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs>

女子テニス部 ~焦げた2017夏~

8月5日(土)から新人戦個人戦が始まり、本校2年の福井璃乃が予選ブロックで優勝し、8月19日(土)に赤穂海浜公園で行われた県大会に出場しました。県大会でも1回戦で賢明学院の選手に勝利し、2回戦では相生学院の選手に敗退しましたが、県ベスト64に名前を連ねました。

また、8月10日(木)・11日(金)に伊丹市内大会が行われ、本校2年の大田礼美・山本明日香ペアがダブルスで準優勝しました。新人戦で県大会に上がれなかった両選手はシングルスでも躍進し、伊丹市から本戦に上がった他校選手を次々に破り、最終的に大田は準優勝、山本は第3位になりました。

8月22日(火)に行われた阪神4部リーグ戦では、尼崎稻園に5-0、女学院に3-2で勝利し、強豪の関西学院を後一歩まで追いつめましたが2-3で敗北し、準優勝となりました。2年生5人が1年生13人をまとめなければならぬチームですが、先輩としての意地を結果として残すことが出来るように成長しつつあります。

秋にはジュニア大会、新人戦団体戦、阪神公立大会などが続きますが、他校との合同合宿を含め、この夏に焦げたことを自信に一戦一戦、精一杯のプレーを見せて欲しいと思います。

【赤穂での県大会(福井)】



【市内大会(大田・山本)】



ボランティア部

8月26日(土) ボランティア部の6名がいたみホールで開催された、兵庫県人権啓発協会主催の「ひょうご・ニューマンフェスティバル2017 in いたみ」にボランティアとして参加しました。受付業務、各イベント会場への案内、エレベーターガール、スタンプラリーの景品渡し、着ぐるみ着用などの活動をしました。

生徒の感想より

『私は、今日のボランティアをとても楽しみにしてきました。一つ一つの業務を丁寧にしました。受付業務では、「こんにちは！」と挨拶しながら、参加者全員にプログラムの入ったバッグを渡しました。開催してすぐに、大勢の参加者がホールに集まつたので、とても活気がありました。地下1階から6階まで、ホール全体が盛り上がってました。エレベーターガールをしていると、大勢の参加者が「本物のエレベーターガールみたいやね」と声をかけてくださいました。ご案内できて、とても良い経験になりました。このボランティアでは、他校のボランティア・グループとの交流もできました。』



ボランティア部 募金

去る6月に全校の皆さんの協力を得た日本赤十字募金として、日本赤十字兵庫県支部に2,973円を寄付しました。また、西高祭では、熊本地震の救援金として募金活動を行い、同じく日本赤十字兵庫県支部に5,985円を寄付しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

男子バスケットボール部 県大会出場

9月2日(土) 県立東灘高校にてウインターフィナルの県予選がありました。1回戦は県立吉川高校と試合で、第2Qで11点差。

最終的に80対42で勝利しました。2回戦は格上の白陵高校との試合でした。第2Qまでは5点ビハインド。後半力の差が出て、46対82で負けましたが、県ベスト32という結果を残しました。

応援ありがとうございました。



女子バスケットボール部 県大会出場

女子バスケットボール部は、今回の全国バスケットボール選手権大会阪神地区予選で、北陵・西宮北・小田・西宮南・猪名川と順位対戦しました。西宮北と西宮南には負けましたが、北陵・小田・猪名川に勝つことができ県大会に出場できました。対戦したすべてのチームは3年を残していましたが、伊丹西は3年を残さず1・2年の力だけでやり切りました。

県大会では丹波地区2位の柏原と対戦し、伊丹西44-66柏原で負けました。今回の県大会での経験を活かし、次の新人戦も県大会出場を決め、勝ち進みたいと思います。応援よろしくお願いします。

ヒューマン基礎

9月5日(火) 総合ヒューマン類型「ヒューマン基礎」で「心と体のしくみ」というテーマで関西保育福祉専門学校尾崎朋子先生に講義していただきました。体温計・血圧計・聴診器・パルスオキシメーターを用いて自分または他人のバイタルサイン（生命兆候）の測定を行いました。

生徒の感想より

『普通に測定すると正常だったのに、少し走ってから測定すると脈拍や血圧がすごく高くなっていてびっくりしました。私がこのようになるのなら、高齢者や小さい子どもはもっと影響が出てしまうということを今日改めて感じることができました。だからこそ、毎日測る必要があり、継続することが大事なのだということを学びました。また、「継続して測ることで少しの変化にも素早く対応できる。」ということを学びました。また、さらに視野が広がった1日になりました。』

